



ニプロ あぜぬり機

UZ 300/350・AZ 350
SERIES

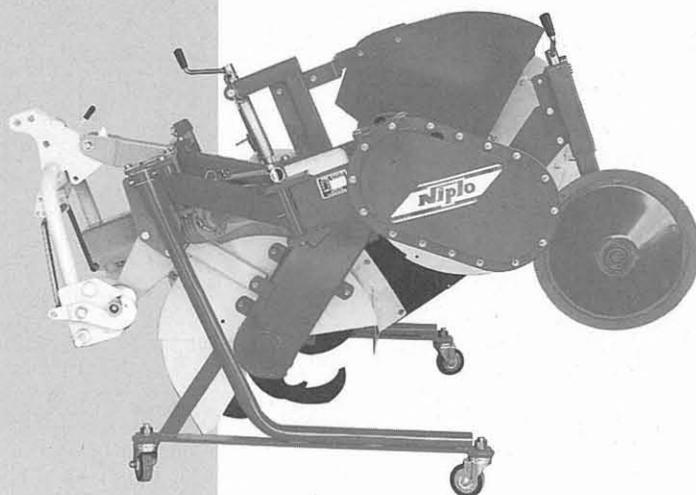
取扱説明書

ご使用になる前に必ず
お読みください。



この製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ずこの 取扱説明書 をお読みください。

- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。



松山株式会社

ニプロ製品をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はあぜぬり機の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書をよく読み十分理解されてから、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管し、常に読めるようにしてください。
- 製品を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、すみやかに弊社、またはお買い上げいただきました販売店・農協へご注文してください。
- 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。そのような場合には、本書の内容、および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきました販売店・農協へご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な事項です。必ず守って作業をしてください。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ず読んでください。

もくじ

安全に作業をするために	1
警告ラベルの種類と位置	5
本製品の使用目的について	6
保証書について	6
アフターサービスについて	6
補修部品と供給年限について	6
主要諸元	7
各部のなまえと組立	8
トラクタの規格	9
3点リンクの調整	9
持ち上げ時の注意	10
装着姿勢	10
カブラの準備(4S/3S)	11
カブラの取付け(4S/3S)	11
装着の順序	12
4S/3Sシリーズ	12
OS/1Sシリーズ	13
日農工 A1/A2/Bシリーズ	14
ジョイントの取付け	15
①長さの確認	15
②ジョイントの切断方法	15
③取付方法	16
トラクタとの調整	17
①前後角度調節	17
②水平の調整	17
③「最上げ」位置の調節	17
移動・ほ場への出入り	17
トラクタからの取外し	18
4S/3Sシリーズ	18
OS/1Sシリーズ	19
日農工 A1/A2/Bシリーズ	19
ほ場条件	20
①ほ場条件	20
②作業時のほ場水分	20
上手な作業のしかた	20
①作業状態へオフセット	20
②方向輪の取付け・調整	21
③ロータリー部の調節	22
④ガイド板(UZシリーズ)の調節	22
⑤あぜ上面への土量の調節	23
⑦あぜの「めり厚さ」の調節	23
⑧低いあぜの対応(大径ローラー・別売り)	23
⑨上面ローラーの調節	24
⑩中あぜ部品(別売り)	24
⑪補助ローラー(別売り)	24
⑫ウイングの角度調節(UZシリーズ)	24
⑬シャーボルトの交換	25
作業時の注意	25
①作業速度	25
②PTO回転数	25
③作業中の異常・点検	25
点検整備・保守管理	26
①ボルト・ナットのゆるみ点検	26
②ジョイントの給油	26
③オイル量の点検と交換	26
④注油・グリース補充	27
⑤チェーンタイトナーの調節	27
⑥耕うん爪の種類と本数	28
⑦ウイングの入替え・交換	28
地球にやさしく	29
格納	29
点検整備チェックリスト	30
異常と処置一覧表	31
用語と解説	32

安全に作業をするために

ここに記載している注意事項を守らないと、死亡・傷害事故や、機械の破損の原因になります。よく読んで安全作業をしてください。

一般的な注意事項

警告 こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18歳未満の人

警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。
ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
【守らないと】機械に巻き込まれたり、すべって転倒するおそれがあります。

警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 機械を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

機械と一緒に「取扱説明書」を渡し、必ず読むように指導してください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故、機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 トラクタに作業機を装着するときは必ずトラクタの取扱説明書を読む

トラクタに作業機を装着する前に、必ずトラクタの取扱説明書を読みよく理解してから作業機の装着をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

警告 重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。
【守らないと】傷害事故や機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 公道の走行は作業機装着禁止

トラクタに作業機を装着して、公道を走行しないでください。
必ず、作業機を取外して走行してください。
【守らないと】道路運送車両法違反です。
事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 機械の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象にはなりません。
純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

点検・整備の注意事項

⚠ 注意 点検・整備をする

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 注意 点検整備中はエンジンを停止する

点検・整備・修理、または掃除をするときは、必ずエンジンを
停止してください。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 点検整備は平らで固い場所でおこなう

交通の邪魔にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない
平らで固い場所で点検整備をしてください。
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれ
があります。

⚠ 注意 カバー類は必ず取付ける

装着のときや、点検・整備で取外したカバー類は、必ず取付けてください。
【守らないと】機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれ
があります。

⚠ 注意 目的に合った工具を正しく使用する

点検整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを
正しく使用してください。
【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

作業時の注意事項

 **警告** 作業機の着脱は平らな場所でおこなう

作業機の着脱は、平らで固い場所でおこなってください。
【守らないと】下敷きになったり、ケガをしたりします。

 **注意** カブラのハンドルには絶対に手をふれない(4セットシリーズ)

作業機の装着・取外しのとき以外は、絶対にカブラのハンドルには手をふれないでください。
【守らないと】作業機が外れ、傷害事故や機械の故障をまねくおそれがあります。

 **警告** トラクタと作業機のまわりに人を近づけない

トラクタのまわりや作業機との間に、人を入れないでください。
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

 **警告** 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。
【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。

 **警告** 機械に巻き付いた草やワラを取るときはエンジンを停止する

回転部分に草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。
【守らないと】機械に巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

 **注意** 作業機の調整はエンジンを停止しておこなう

作業機の調整をするときは、作業機を下げ、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
【守らないと】傷害事故や機械の損傷をまねくおそれがあります。

 **警告** 傾斜地では、ゆっくり大きく回る

傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。
トラクタ速度を落とし、大きく回ってください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 作業機の落下防止をする

作業機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」てロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。
【守らないと】死亡事故や傷害事故を負うおそれがあります。

⚠ 警告 アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する

積込み、積降ろしをするときは、平らで交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。
長さのめやすは荷台高さの4倍です。
【守らないと】事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 子供を機械に近づけない

子供には十分注意し、近づけないでください。
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 オフセット時は、機体後方を持って動かす

オフセット(作業時と移動時の位置変え)のときは、⑳アーム、⑧ミッションケース(UZ)、⑧ミッションフレーム(AZ)など動く部分を持たないで、機体後方を持って動かしてください。
【守らないと】手をはさむなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

格納時の注意事項

⚠ 注意 あげぬり機単体の転倒防止をする

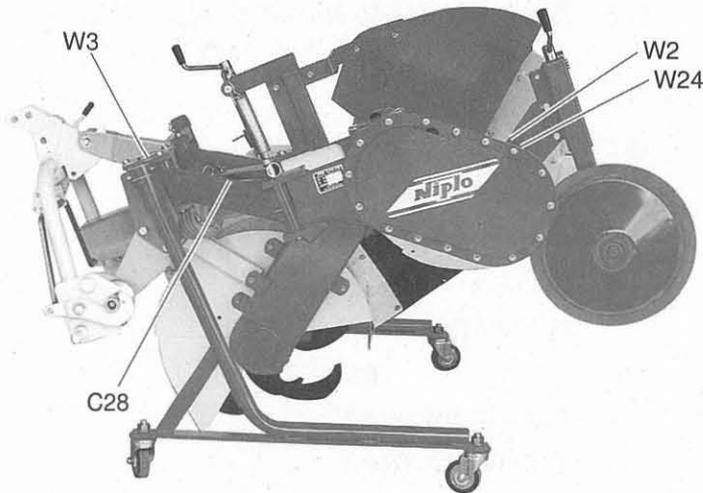
スタンドを必ず付け、転倒防止をしてください。
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 格納時はカブラを外す(4S、3Sシリーズ)

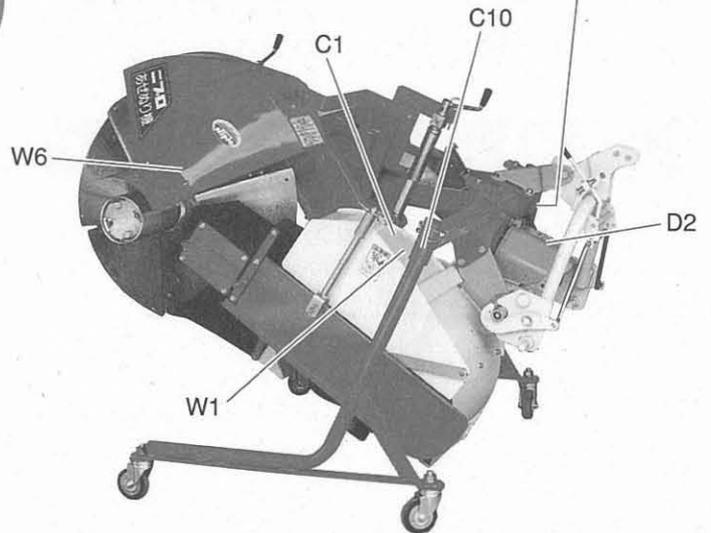
格納するときは、必ずカブラを作業機から外し、地面に置きます。
カブラのハンドル操作を間違えると落下します。
【守らないと】傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告ラベルの種類と位置

- 警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになって安全に作業をしてください。
- 警告ラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしておいてください。
- 紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた販売店、または農協へ下記型式、およびコードナンバーでご注文のほどお願いいたします。



ネームプレート



C1 8750-318000

▲ 注意

使用前に取扱説明書をよく読んで
安全で正しい作業をしてください。

始動 ●エンジン始動時や作業機関係操作レバーを操作するときは、必ず周囲に人がいないことを確認してください。
運転 ●旋回時、後退時や作業機を上下位置に操作するときはまわりや後方をよく確認してください。
 ●作業機の上に人を乗せないでください。
整備 ●作業機の修理・点検・清掃を行なうときはトラクターを平坦な場所に移動し駐車ブレーキをかけて、エンジンを停止し、油圧降下防止用のストップバルブをロック（閉）方向に締込んでください。
 ●作業機を着脱するときはトラクターと作業機の間に立たないでください。
 ●始業点検時、シヨイントに必ずグリスを注入してください。各部のオイル量を点検し、少ない場合はギアオイルを補給してください。
 ●各部ボルト、ナット類の点検を行ない、必要があれば増し締めしてください。
 ●カバー類は必ず所定の位置に装着してください。

8750-318000

C10 8750-337000

▲ 注意

●作業中や旋回時は近づかないでください。
 ●ケガをするおそれがあります。

8750-337000

C28 8750-383000

▲ 注意

●オフセット時は、機体後方を持って、動かしてください。
 ●手をはさみ、ケガをするおそれがあります。

C28 8750-383000

D2 8750-314000

▲ 危険

●これは入力軸のカバーです。
 ●作業機をトラクターに装着後は必ず取りつけてください。
 ●ケガをするおそれがあります。

8750-314000

W1 8750-316000

▲ 警告

●エンジンまたはPTO軸が回転中は、手や足を作業機の中や下へ入れないでください。
 ●ケガをするおそれがあります。

8750-316000

W2 8750-317000

▲ 警告

●作業機の修理・点検・清掃を行なうときは、油圧降下防止用のストップバルブを、ロック（閉）方向に締込んでください。
 ●作業機が降下してケガをするおそれがあります。

8750-317000

W3 8750-326000

▲ 警告

●作業機を着脱するときはトラクターと作業機の間に立たないでください。
 ●はさまれてケガをするおそれがあります。

8750-326000

W6 8750-323000

▲ 警告

●運転中は、動いている部分に手をふれないでください。
 ●ケガをするおそれがあります。

8750-323000

W24 8750-368000

▲ 警告

●移動及び圃場の出入りの時は、必ず作業機を中央位置に固定して行なってください。
 ●接触または転倒によりケガをするおそれがあります。

W24 8750-368000

本製品の使用目的について

- このあぜぬり機は、水田のあぜ塗りに使用し、使用目的以外の作業には、決して使わないでください。使用目的以外の作業で故障した場合は、保証の対象にはなりません。
- あぜぬり機は決められた適応馬力で設計しています。適応トラクタ馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は故障の原因となり、保証の対象にはなりません。
- あぜぬり機は「標準3点リンク」「特殊3点リンク」で設計しています。他の規格では装着ができません。
- あぜぬり機の改造は決しておこなわないでください。保証の対象にはなりません。

保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられるときに必要となるものです。

お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し点検してください。

点検・整備しても不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店・農協、または弊社までご連絡ください。

なお、部品のご注文は販売店・農協に純正部品表(パーツリスト)が備えてありますのでご相談ください。

●ご連絡いただきたい内容

- 型式名と製造番号
 - ・ネームプレートを見てください。
- ご使用状況
 - ・ほ場の条件は、石が多いですか？
強粘土ですか？
 - ・トラクタの速度は？
 - ・PTOの回転数は？
- どのくらい使用されましたか？
 - ・約□□アール、または □□時間
- 不具合が発生したときの状況をなるべくくわしく教えてください。

補修部品と供給年限について

- 補修部品は、純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や性能に影響する場合があります。
- この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などご相談させていただく場合があります。
- 供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期、および価格についてご相談させていただきます。

主 要 諸 元

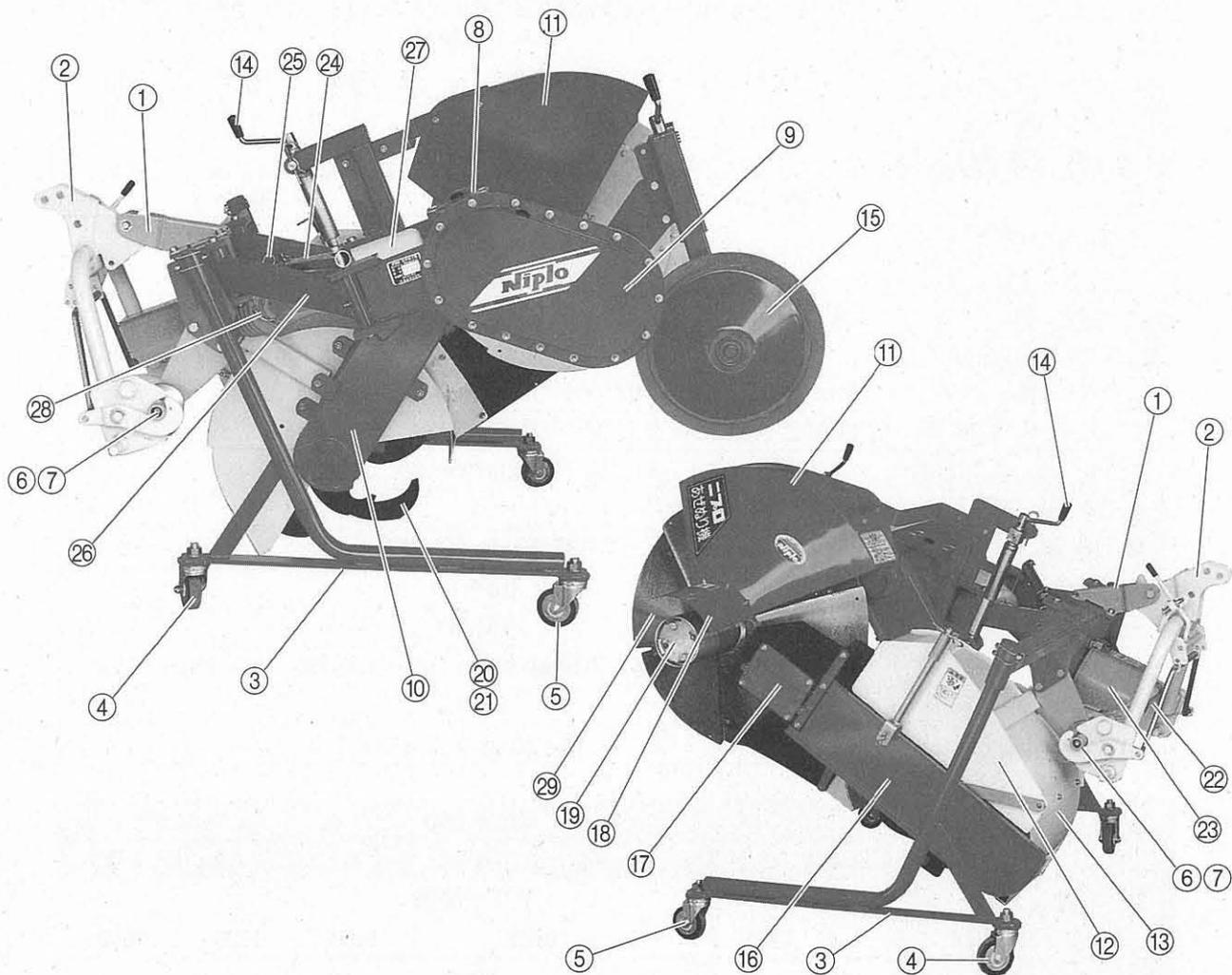
型 式 ・ 区 分		U Z 300 ・ 350						
		- 4 S	- 3 S	- 0 S	- 1 S	- A 1	- A 2	- B
駆 動 方 式		P T O 駆 動						
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1840		1640		1705	1750	1705
	全 幅 (mm)	1565						
	全 高 (mm)	1320						
質 量 (kg)		340(345)		325(330)		330(335)		
適 応 ト ラ ク タ kW		18.4~36.8						
" (PS)		(25~50)						
装 着 方 式	種 類	日農工標準3点オートヒッチJIS0.1型			標準3点 リンク直装	日農工特殊3点オートヒッチ		
	カブラの型式	E S		-	-	ロータリーのカブラを使用		
	呼 称	4セット	3セット	0セット	1セット	A-1形	A-2形	B形
ジ ョ イ ン ト 型 式		CLCV-Z	CECV	-	CECV	ロータリーのジョイントを使用		
あ ぜ 高 さ (cm)		20~25 最大30(25~30 最大35)						
標 準 耕 深 (cm)		7						
耕 深 調 節 方 法		耕深ハンドル調整						
標 準 作 業 速 度 (km/h)		0.4~1.0						
デ ィ ス ク 径 (cm)		75(85)						
オ フ セ ッ ト 調 節		中あぜ作業+3段階 車輪幅(外幅) 125~140/135~155/150~165cm						
作 業 能 率 (分/100m)		6~15						
中 あ ぜ 高 さ (cm)		15~20(オプション)						

型 式 ・ 区 分		A Z 350						
		- 4 S	- 3 S	- 0 S	- 1 S	- A 1	- A 2	- B
駆 動 方 式		P T O 駆 動						
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1825		1625		1690	1735	1690
	全 幅 (mm)	1545						
	全 高 (mm)	1285						
質 量 (kg)		330		315		320		
適 応 ト ラ ク タ kW		18.4~36.8						
" (PS)		(25~50)						
装 着 方 式	種 類	日農工標準3点オートヒッチJIS0.1型			標準3点 リンク直装	日農工特殊3点オートヒッチ		
	カブラの型式	E S		-	-	ロータリーのカブラを使用		
	呼 称	4セット	3セット	0セット	1セット	A-1形	A-2形	B形
ジ ョ イ ン ト 型 式		CLCV-Z	CECV	-	CECV	ロータリーのジョイントを使用		
あ ぜ 高 さ (cm)		25~30 最大35						
標 準 耕 深 (cm)		7						
耕 深 調 節 方 法		耕深ハンドル調整						
標 準 作 業 速 度 (km/h)		0.7~1.2						
デ ィ ス ク 径 (cm)		85						
オ フ セ ッ ト 調 節		中あぜ作業+3段階 車輪幅(外幅) 125~140/135~155/150~165cm						
作 業 能 率 (分/100m)		5~8.5						
中 あ ぜ 高 さ (cm)		15~20(オプション)						

- 本諸元は改良のため、予告なく変更することがあります。
機体寸法は格納時の仕様です。UZの()は、350シリーズです。

各部のなまえと組立

1 各部のなまえ



- | | | | |
|----------------|------------|------------|--------------|
| ①マスト | ⑨チェーンケース | ⑬土止め板 | ⑲ロット |
| ②カブラ | チェーンケースカバー | ⑭上面ローラーカバー | ⑳アーム |
| ③スタンド | ⑩チェーンケース2 | ⑮上面ローラー | ㉑入力軸カバー |
| ④ストッパー付きキャスター | ⑪ディスクカバー | 上面ローラー延長 | ㉒ジョイント |
| ⑤キャスター | ⑫耕うん部カバー | ⑳耕うん軸 | ㉓ディスク (ウィング) |
| ⑥ローワーピン | ⑬耕うん部前カバー | ㉑耕うん爪 | |
| ⑦ローワーピンガイド | ⑭耕深ハンドル | ㉒入力軸 | |
| ⑧ミッションケース (UZ) | ⑮方向輪 | ㉓入力軸カバー | |
| | ⑯ガイド板 | ㉔支えパイプ | |

⚠ 注意

- 梱包を解体するときは、まわりの人や物に注意してください。
- 木枠やダンボールの「クギ・ハリ」などには十分注意してください。

守らないと、「クギ・ハリ」や木枠でケガをすることがあります。

2 組立

- (1) 左右のスタンドを取付けます。
 - ④ストッパー付きキャスターが、前側になります。
- (2) AZは、土止め板を、取付穴の右側に取付けてください。(22ページ参照)

トラクタの規格

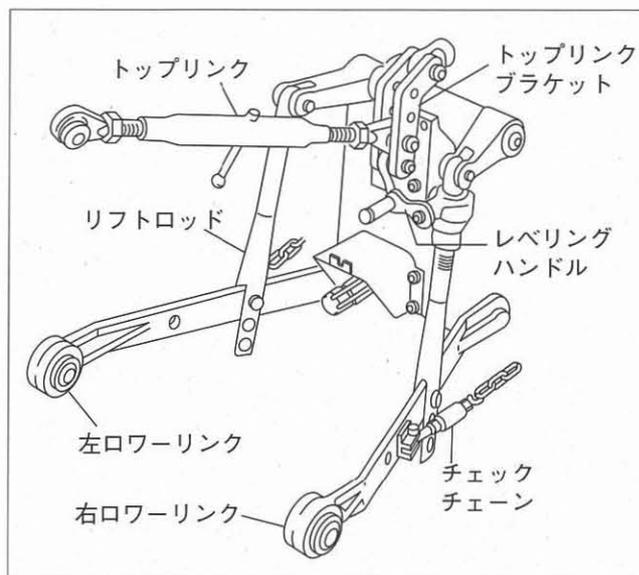
- あぜぬり機の3点リンク装着システムは、「標準3点リンク規格」と日農工統一規格「日農工標準3点オートヒッチ」、および「日農工特殊3点オートヒッチ」を採用しています。
- 「標準3点リンク規格」は3点リンクとジョイントを手で付けます。(1セット)
- 「日農工標準3点オートヒッチ」はさらに4セット・3セット・0セットと3種類に分かれます。
4セットは3点リンクとジョイントが同時に自動装着でき、3セットは3点リンクのみが自動装着で、ジョイントは手で付けます。0セットはすでにお手持ちの4セットシリーズ作業機と共用するため、カブラ、およびジョイントは標準装備していません。
- 「日農工特殊3点オートヒッチ」は「A-1形」「A-2形」「B形」の3種類があり、3点リンクとジョイントが同時に自動装着できます。
トラクタに付属しているロータリーと同じ方法で装着します。カブラ・ジョイントは同じものを使用しますので、あぜぬり機には装備していません。
- 3点リンク装着規格の判別は、型式の末尾で判断してください。

型式末尾	3点リンク規格	呼称
-4 S	日農工標準3点オートヒッチ	4セット
-3 S		3セット
-0 S		0セット
-1 S	標準3点リンク	1セット
-A 1	日農工特殊3点オートヒッチ	A-1形
-A 2		A-2形
-B		B形

3点リンクの調整

△注意

- トラクタの取扱説明書「3点リンクの規格」をよく読んでください。守らないと、取付けができなかったり、機械の損傷やケガの原因になります。



① 4S/3S/0S シリーズ

- カブラは「標準3点リンク規格」です。トラクタの3点リンクも標準3点リンクでないと装着ができません。
- 特殊3点リンク規格の場合は、特殊3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準3点リンク用の両側にターンバックルの付いた、長いものに替えてください。
- 作業機の上がり量、下がり量が不足する場合は、リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して調整してください。

② 1Sシリーズ

- あぜぬり機の装着は「標準3点リンク規格」です。トラクタの3点リンクも標準3点リンクでないと装着ができません。
- 特殊3点リンク規格の場合は、特殊3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準3点リンク用の両側にターンバックルの付いた、長いものに替えてください。
- 作業機の上がり量、下がり量が不足する場合は、リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して調整してください。

③ A1/A2/Bシリーズ

- トラクタの3点リンクの規格を取扱説明書で確認してください。
- ロータリーに付いているカブラを使用します。
- ロータリーの装着と同じ位置に、トップリンク・ロワーリンクの位置を調節します。

持ち上げ時の注意

- ① トラクタに装着したときは、「最上げ」時にトラクタとあぜぬり機がぶつからないように、油圧をゆっくり上げながら確認します。特にキャビン付きトラクタの場合は、背面のガラスを突き上げないように注意してください。
- ② トラクタにより、スイッチで「最上げ」まで自動上昇する機種があります。作業機が勢いよく上がるため、トラクタとあぜぬり機との間隔を10cm以上開け、上げ規制をしてください。
- ③ トップリンクやローリンクの取付穴位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合には、調整をやり直してください。

⚠ 注意

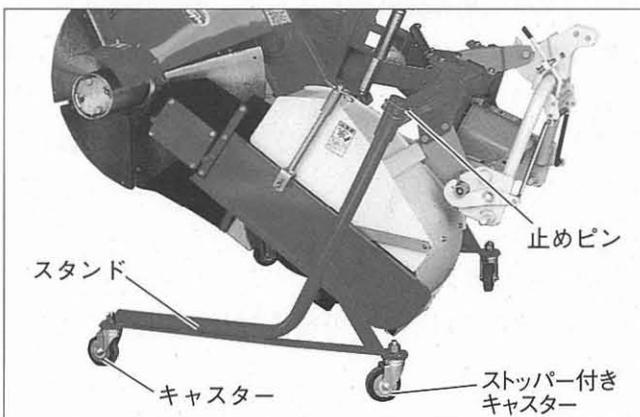
- トラクタの取扱説明書「3点リンク、および油圧関係」をよく読んでください。守らないと、機械の損傷やケガの原因となります。

装着姿勢

⚠ 警告

- あぜぬり機の装着は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。カブラで装着できるように、あぜぬり機の姿勢を調節します。

- ① スタンドホルダーにスタンドを差し込み、止めピンで固定します。

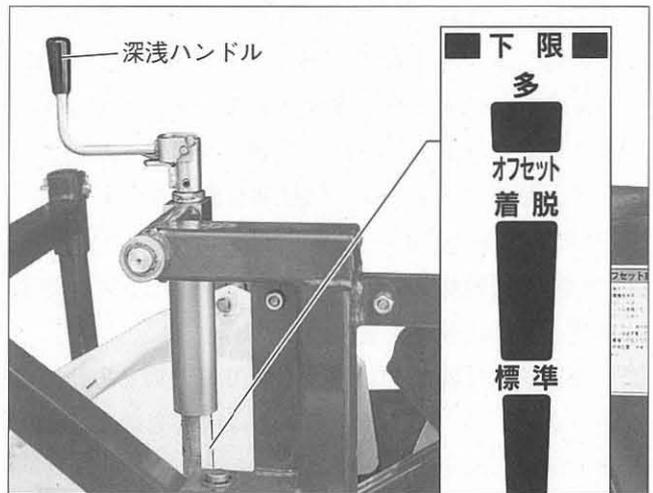


- ② キャスターは2種類あります。ストッパー付きのキャスターを前側に、ストッパーなしのキャスターを後ろ側に組付けてください。

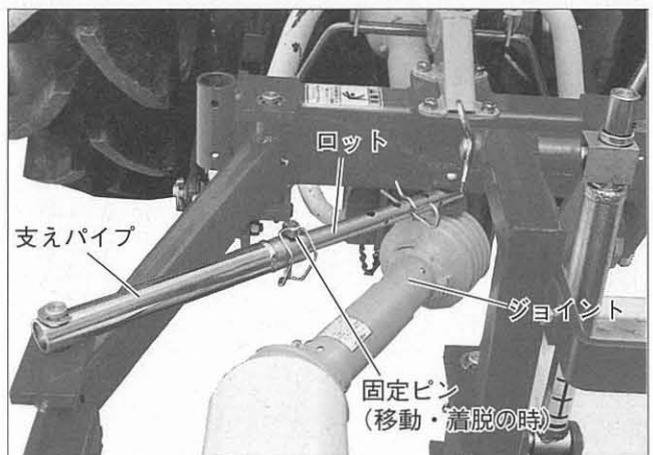
- ③ 出荷時は装着姿勢(中央セット)になっていますので、そのまま装着できます。

中央セットになっていない場合は

- (1) 深浅ハンドルを回して、ロータリー部分をオフセット・着脱の位置まで下げます。



- (2) 機体を中央に寄せ、移動・着脱位置に合わせて固定ピンで止めます。



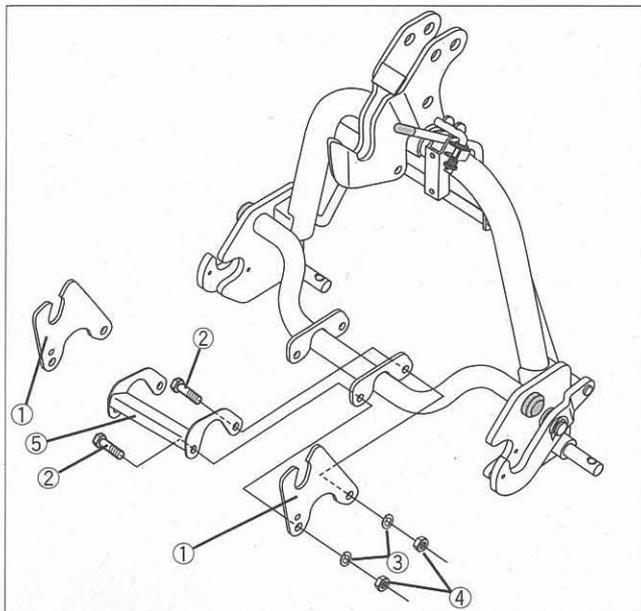
⚠ 注意

- 装着・移動(中央セット)の状態、PTOを回さないでください。守らないと、ジョイント鳴りや、振動が発生し、破損の原因になります。

カプラの準備 (4S/3S)

- 4セットの場合は、ジョイントのダンボール箱に入っているサポートプレートと連結枠を取付けてください。
- 3セットの場合は不要です。

ESカプラ



番号	部 品 名	数量
①	サポートプレート	2
②	ボルト M12×30 7T	4
③	ばね座金 M12	4
④	ナット M12	4
⑤	連結枠	1
①~⑤	サポートプレート ASSY 5447 933000	

カプラの取付け (4S/3S)

- ここでは4セットを中心に説明します。4セットと3セットの違いは、ジョイントが自動装着か、手で付けるかの違いです。

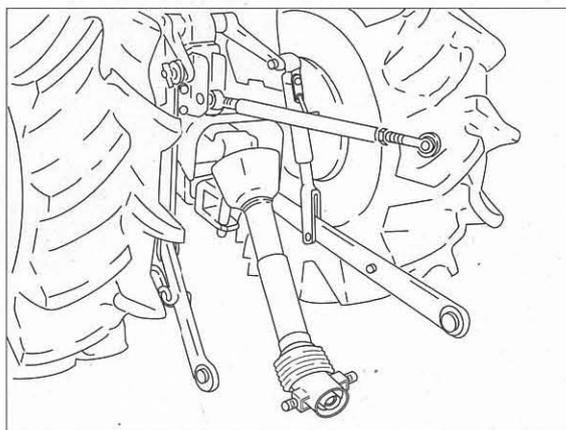
⚠ 警 告

- カプラの装着・取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注 意

- トラクタ取扱説明書の「3点リンクの規格」をよく読んでください。
- PTOクラッチを切り、トラクタのエンジンを必ず停止してカプラの取付けをします。
- 必ず、リンチピンで抜け止めをしてください。守らないと、取付けができなかったり、機械の損傷やケガの原因になります。

- ① トラクタの油圧レバーを操作し、ローリンクを「最下げ」にします。トラクタのPTO軸にジョイントの広角側(大きい方)を取付けます。



- ② カプラをトラクタのトップリンクに、トラクタに付属しているトップリンクピンで取付けます。
- ③ 左右のローリンクに取付けます。内側セットと外側セットができます。トラクタの3点リンク規格に合わせてください。

	内側セット	外側セット
ESカプラ	JIS 0大	JIS 1

装着の順序

4S/3Sシリーズ

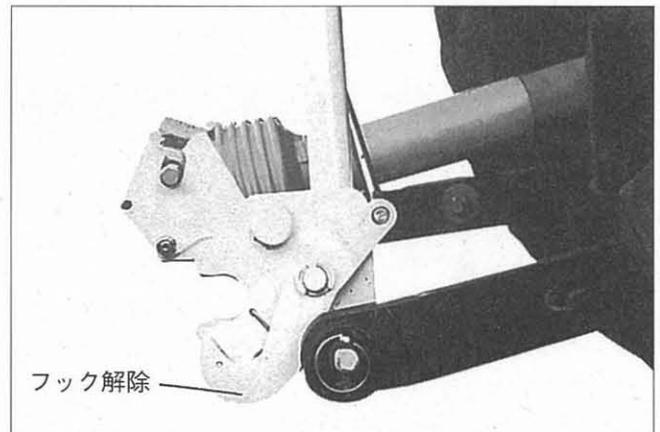
▲警告

- あぜぬり機の装着は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- あぜぬり機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

ここでは、4セットを中心に説明します。4セットと3セットの違いは、ジョイントが自動装着か、手で付けるかの違いです。

- 1 カブラのハンドルを引き、フックを解除し、装着状態にします。



- 2 トラクタをあぜぬり機を中心に合わせ、まっすぐバックします。

トラクタの油圧を下げて、カブラのトップフックをあぜぬり機のトップピンの下へくぐらせます。トラクタとあぜぬり機の中心が合うまで繰り返してください。

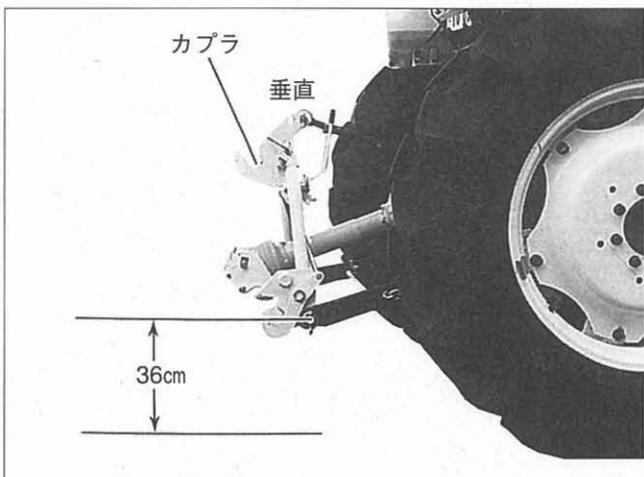


- 4 ジョイントをサポートプレートの上にのせます。ステッカー面を上にして、ジョイントを折りながらサポートプレートの切欠き部へピンを入れます。

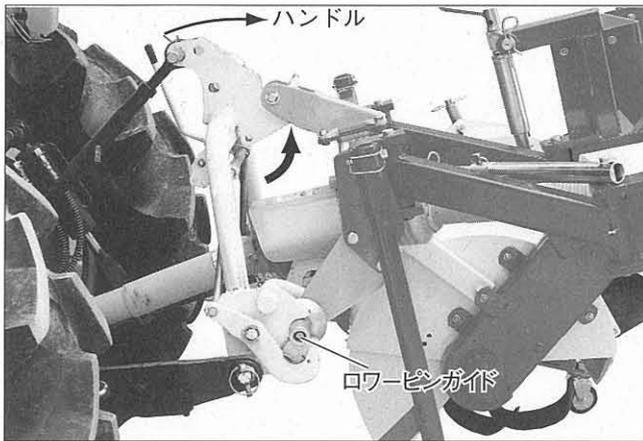


- 5 あぜぬり機を装着するまでは、トラクタの中心に合わせ左右均等に、やや多く振れるように、チェックチェーンで仮り止めをします。

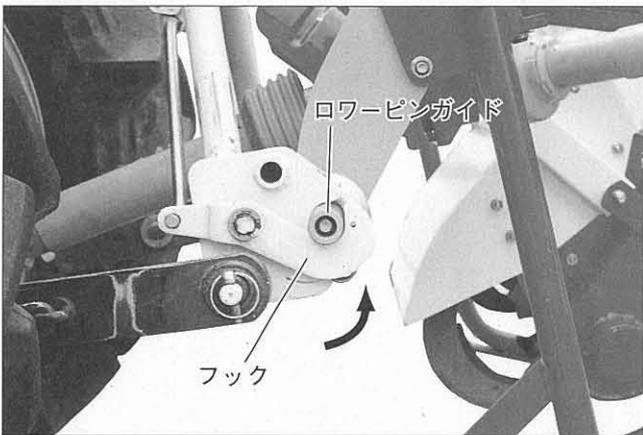
- 6 トップリンクの長さは、ローリンクの地上高36cmほどのとき、カブラが垂直になるように調節します。



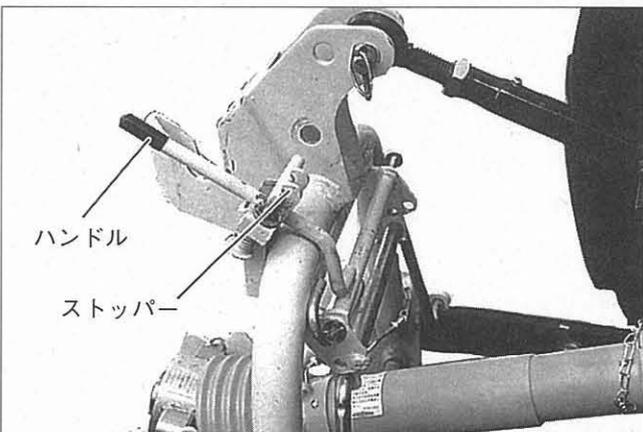
- ③ ゆっくりトラクタの油圧を上げて、トップフックで
トップピンをすくい上げます。
あぜぬり機のローワーピンガイドがカプラに入ります。



- ④ ハンドルを押し、フックで固定します。
4セットの場合は、ジョイントも同時に入力軸のス
プラインに入ります。



- ⑤ ハンドルをストッパーで確実にロックしてくださ
い。



⚠ 注意

- 装着・取外しのとき以外は、必ずハンドルストッ
パーをかけ、ハンドルをロックしてください。守らな
いと、誤操作であぜぬり機が外れ、機械の損傷や傷
害事故の原因になります。

補足

- フックが当たったり、ジョイントが入ら
ない場合は、トラクタの油圧を下げてあ
ぜぬり機を外し、始めからやり直してく
ださい。
- あぜぬり機が左右に傾いているときは、
トラクタの右側リフトロッドの長さを調
節し、あぜぬり機の傾きにカプラの傾き
を合わせてから装着してください。

OS/1Sシリーズ

⚠ 警告

- あぜぬり機の装着は、平らで固い場所を選び、いつ
でも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入ら
ないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしない
でください。
- あぜぬり機の調整をするときは、トラクタの駐車ブ
レーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置に
し、エンジンを停止してください。
- トラクタとの装着バランスが悪い場合は、トラクタ
メーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調
整をしてください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

- ① トラクタをあぜぬり機の中心に合わせ、まっすぐバ
ックします。
- ② トラクタの左ローワーリンクにあぜぬり機の左ロー
ワーピンを取付けます。
- ③ トラクタの右ローワーリンクにあぜぬり機の右ロー
ワーピンを取付けます。高さが合わないときはレベリ
ングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調節して
取付けてください。
- ④ あぜぬり機のマストに、トップリンクの長さを調節
して取付けます。

補足

- トップリンクが取付けづらい場合は、油
圧をゆっくり上げてあぜぬり機の前を少し
浮かします。
ローワーピンの地上高を60cmほどにします。
- 勢いよく、または大きく上げると、あぜぬ
り機が後ろに倒れ、機械の損傷やケガの原
因になります。

⑤ トップリンクが短い(縮まった)状態で油圧をいっばいに上げると、あぜぬり機とトラクタが当たる場合があります。入力軸がほぼ水平になるように、トップリンクを伸ばしてください。

日農工 A1/A2/Bシリーズ

⚠ 警告

- あぜぬり機の装着は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- あぜぬり機の装着は、トラクタ付属のロータリーと同じ順序です。トラクタ取扱説明書の「ロータリーの取付け・取外し」の項を参照してください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- あぜぬり機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。
- トラクタとの装着バランスが悪い場合は、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付け、バランス調整をしてください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

- トラクタ付属のロータリーのカブラ(別名フレーム・ヒッチ)、およびジョイントを兼用であぜぬり機にも使用します。
- トラクタへの取付け・取外しは、トラクタ付属のロータリーと同じ方法でおこないます。
- トラクタの型式、および3点リンクの規格で装着の方法は異なります。ここでは一般的な説明をします。

① カブラのハンドルを操作し、ロータリーを外します。

② トラクタをあぜぬり機の中心に合わせ、まっすぐバックします。

トラクタの油圧を下げて、カブラのトップフックをあぜぬり機のトップピンの下へくぐらせます。トラクタとあぜぬり機の中心が合うまで繰り返してください。

③ ゆっくりトラクタの油圧を上げて、トップフックでトップピンをすくい上げます。

あぜぬり機のローワーピンがカブラに入ります。

④ ハンドルを操作し、フックで固定します。必ずストッパーをかけ、ロックします。

※フックが当たったり、ジョイントが入らない場合は、トラクタの油圧を下げてあぜぬり機を外し、始めからやり直してください。

※あぜぬり機が左右に傾いているときは、トラクタの右側リフトロッドの長さを調節し、あぜぬり機の傾きにカブラの傾きを合わせてから装着してください。

⑤ フックがストッパーで確実にロックされているか、必ず確認してください。

ジョイントの取付け

△ 注意

● PTOクラッチを切り、トラクタのエンジンは必ず停止させ、ジョイントの取付けをしてください。守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

ジョイントの長さは、装着するトラクタの型式により異なります。ご注文時にトラクタの型式を明示いただければ、その型式に適応したジョイントが付属されます。型式が不明の場合は標準の長さの物が付属されます。

※長すぎるジョイントを装着すると、トラクタのPTO軸か作業機の入力軸を突き、破損させます。

※短いとジョイントのかみ合いが少なく、ジョイントが破損します。

① 長さの確認

次の方法で長さの確認をしてください。

◆ 4 Sシリーズ

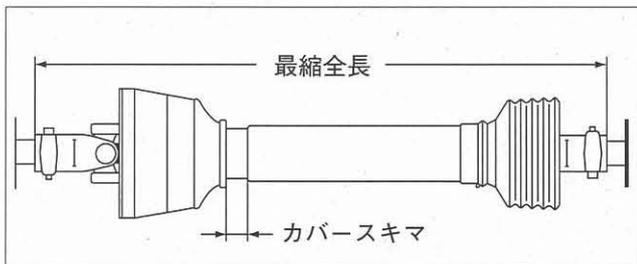
(1) 3点リンクにカプラを取付け、装着の姿勢にトップリンクの長さを合わせます。

(2) 油圧をいっばいに下げ、ジョイントをセットします。

(3) ジョイントを見ながら、油圧を少しずつ上げ、水平になった所で、突いていないか確認します。突いている場合は、長い分を切るか、短いものと交換します。

(4) 油圧を上下して、ジョイントの「カバースキマ」が下表の範囲以内にあるか調べます。

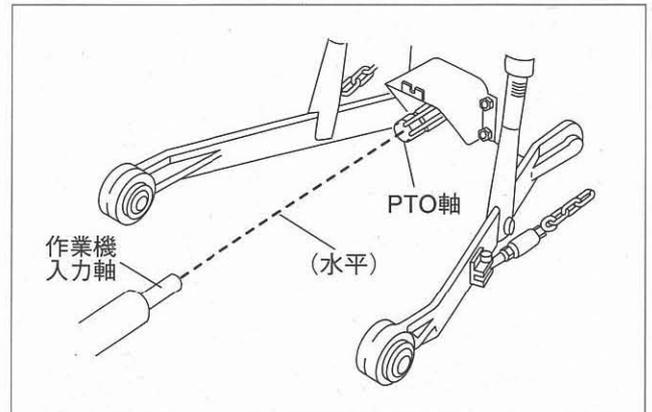
※スキマが大きすぎるとジョイントの強度が不足します。長いものと交換してください。



種類	ジョイント型式	最縮全長 (mm)	カバースキマ (mm)
4 セ ット ジ ョ イ ン ト	CLCV-Z655	650	28~106
	Z705	700	28~156
	Z755	750	28~206
	Z805	800	28~256
	Z855	850	28~306

◆ 3 S / 1 Sシリーズ

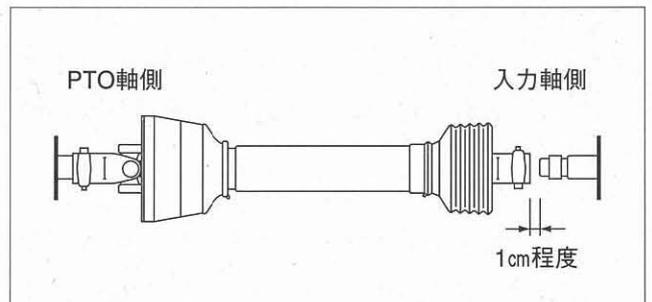
(1) あぜぬり機をゆっくり上下し、トラクタのPTO軸とあぜぬり機の入力軸が同じ高さになったところで油圧をロックし、エンジンを止めます。



(2) PTO軸へジョイントを取付けます。

(3) ジョイントをいっばいに縮め、ジョイントの先端とあぜぬり機の入力軸との間に1cmほど間隔があればそのまま使用できます。

間隔がない場合は、長い分を切断します。



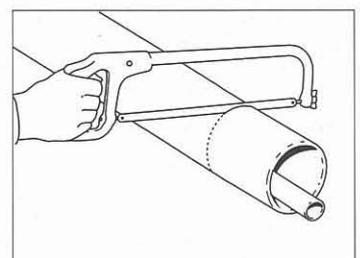
(4) 油圧を上下して、ジョイントの「カバーのスキマ」が下表の範囲以内にあるか調べます。

※スキマが大きすぎるとジョイントの強度が不足します。長いものと交換してください。

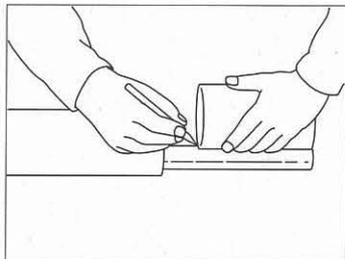
種類	ジョイント型式	最縮全長 (mm)	カバースキマ (mm)
広 角 ジ ョ イ ン ト	CECV-660	660	26~148
	2	710	26~198
	3	810	26~298
	4	910	26~398

② ジョイントの切断方法

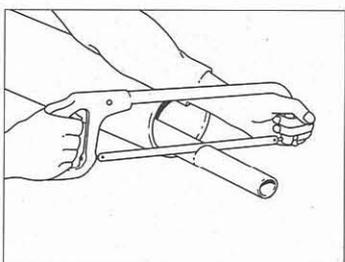
(1) 長い分だけプラスチックカバーをオス・メス両方切り取り取ります。



(2) 切り取ったプラスチックカバーと同じ長さを、シャフトの先端から計ります。



(3) シャフトを高速カッタか金ノコでオス・メス両方切断します。



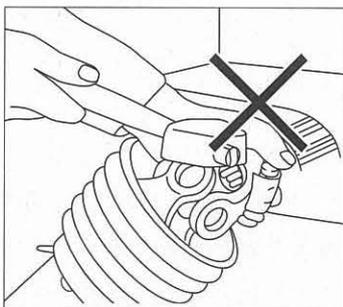
※高速カッタは回転が速く、ケガをす
る恐れがあります。十分注意して作業をおこな
ってください。

(4) 切り口をヤスリでなめらかに仕上げ、グリースを塗
りオス・メスを組合わせます。

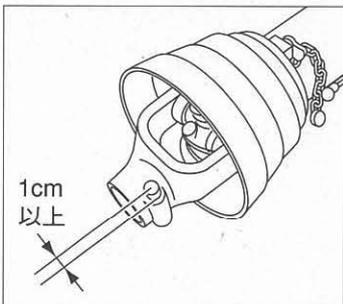
③ 取付方法

(1) ジョイントのロックピンを押しながら、PTO軸、
および入力軸へ挿入し、ロックピンを軸の溝で止め
ます。

ハンマーなどでジョ
イントをたたき、強
引に入れないでくだ
さい。

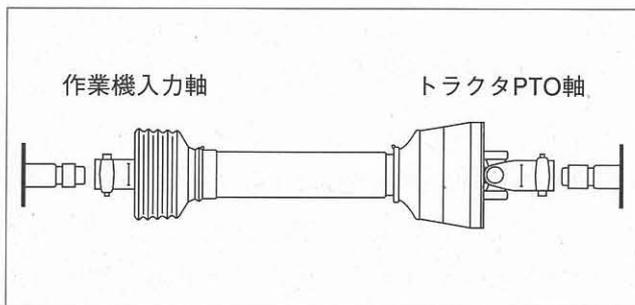


ロックピンが軸溝に
正確に入り、ロック
ピンの頭が1 cm以上
出ていることを、ト
ラクタ側、作業機側
ともに確認してくだ
さい。

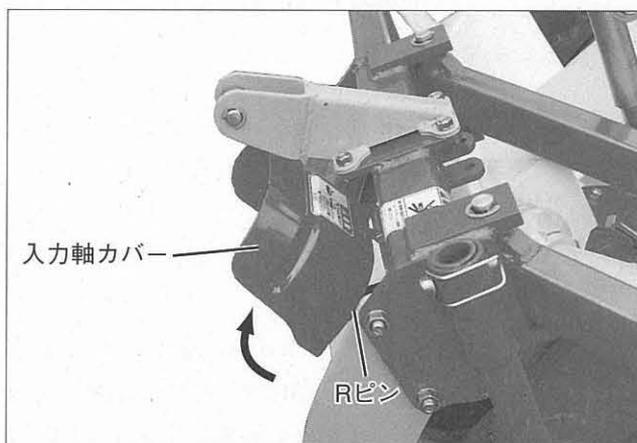


3セット、および1セットの場合は「普通広角ジョ
イント」を取付けます。

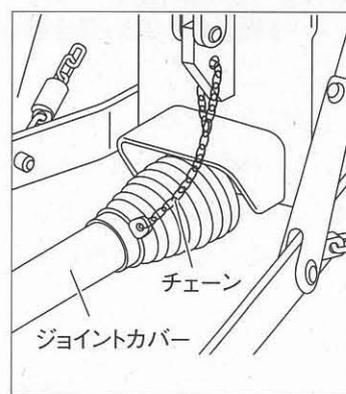
ジョイントの広角側(大きい方)をトラクタのPTO
軸に付けます。



入力軸カバーは、Rピンを抜くと上に上がります。
ジョイントを付けるときだけ上げてください。



(2) ジョイントカバーの
チェーンを、トラク
タの3点リンクが上
下しても動かない場
所につなぎます。3
点リンクを上下して
も引っ張られないよ
うにたるみを持たせ
ます。



⚠ 危険

- 取外したトラクタのPTO軸カバー、あぜぬり機の入力軸カバーを、もとどおりに取付けてください。守らないと、巻き込まれて傷害事故の原因になります。

トラクタとの調整

⚠ 警告

- あぜぬり機の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
 - トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
 - あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- 守らないと、死亡事故や傷害事故の原因になります。

① 前後角度調節

(1) 4S/3S/0S/1Sシリーズ

あぜぬり機の入力軸が水平になるように、トップリンクの長さを調節します。

(2) A1/A2/Bシリーズ

トップリンクの調節ができません。「トラクタ付属ロータリー」の装着長さに合わせてください。

② 水平の調整

あぜぬり機の左右が作業のときに水平になるように、トラクタのレベリングハンドルを回して、右リフトロッドの長さを調節します。

補足

作業のときは、ディスクが元あぜに乗り、右側がやや上がります。リフトロッドを伸ばし右側を下げ、作業時にあぜぬり機が水平になるように調整してください。

③ 「最上げ」位置の調節

PTOを回転させながら、ゆっくりあぜぬり機を上げ、振動や異音の出ない位置で油圧レバーを止め、「上げ規制ストッパー」で固定します。

10ページ「持ち上げ時の注意」を参照してください。

移動・ほ場への出入り

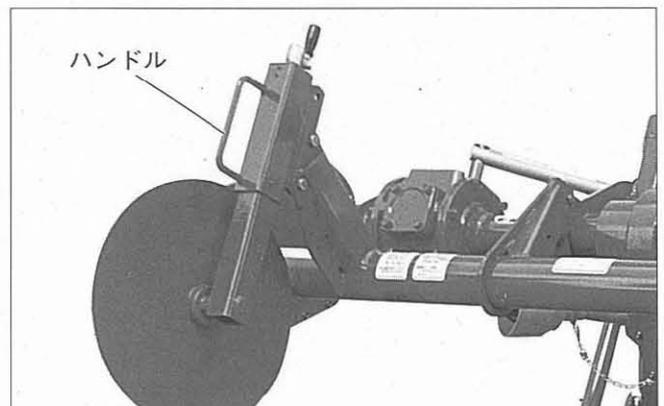
⚠ 警告

- 作業状態では、あぜぬり機が車輪幅より右側に出るため、移動・走行が危険になります。必ず中央セットに戻してから移動・走行をしてください。
- 高速走行・急発進・急停車はしないでください。旋回するときはスピードを落とし、急旋回はさけてください。
- 運転者以外の人や物をのせないでください。
- 子供には十分注意し、機械へは近づけないでください。
- ほ場への出入りは、必ずあぜと直角にしてください。
- 急な上り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなりとても危険です。常に前・後輪のバランスを考えながら、トラクタメーカー純正のバランスウェイトを付けてください。
- あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用し、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は、強度・長さ・幅が十分あり、滑り止めのある物を選んでください。
- 両側に溝や傾斜のある農道を通るときは、特に路肩に注意してください。軟弱な路肩、草の茂ったところは通らないでください。

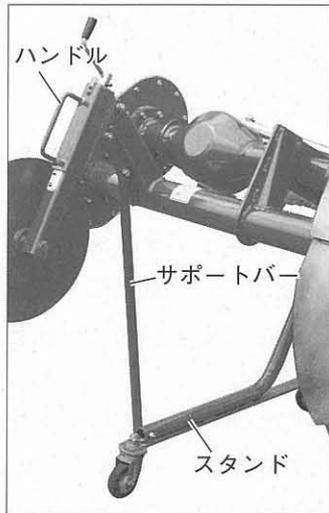
守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

- トラクタにあぜぬり機を装着して、公道を走行しないでください。守らないと、「道路運送車両法違反」となり、事故を引き起こす原因になります。
 - オフセット(作業時と移動時の位置変え)のときは、②⑥アーム、⑧ミッションケース(UZ)、⑧ミッションフレーム(AZ)など動く部分を持たないで、機体後方のハンドルを持って動かしてください。
- 守らないと、手をはさむなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



- ① 移動のときは、あぜぬり機をいっばいに上げ、油圧ストップバルブを完全に「閉め」て、下がるのを防ぎます。あぜぬり機が左右に振れないように、チェックチェーンを張り、ロックナットを締めてください。



重要 移動のときは、必ずあぜぬり機を中央セットに戻してください。

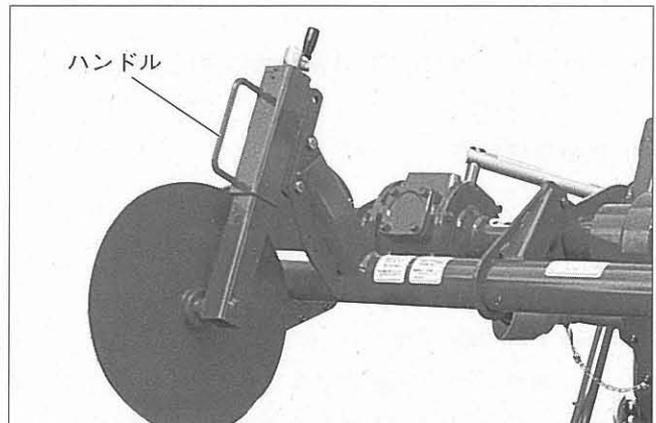
作業状態のまま移動走行すると、振動によりトラクタの3点リンクを破損させる場合があります。

- スタンドをセットしてトラック輸送する場合は、必ず運搬用のサポートバーを取付けてください。上下にゆれてスタンドの取付部が曲がる場合があります。

トラクタからの取外し

⚠ 注意

- オフセット（作業時と移動時の位置変え）のときは、②⑥アーム、⑧ミッションケース(UZ)、⑧ミッションフレーム(AZ)など動く部分を持たないで、機体後方のハンドルを持って動かしてください。守らないと、手をはさむなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



4S/3Sシリーズ

⚠ 警告

- あぜぬり機を取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- 取外すときは、スタンドを取付けてください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

- トラクタのPTO変速レバーを「中立」の位置にして、取外してください。守らないと、誤操作でPTO軸が回り、傷害事故につながります。

※必ず機体を中央位置(10ページ装着姿勢)に戻します。

- ① あぜぬり機へスタンドを取付け、スタンド止めピンを差し、固定します。
- ② ハンドルストッパーを解除します。
- ③ カプラのハンドルを引き、フックを解除します。
- ④ あぜぬり機をゆっくり下げます。

- ⑤ カブラからローワーピンガイドが抜け、トップピンからトップフックが外れたのを確認して、ゆっくりトラクタを前進させます。

外れない場合は、トラクタとあぜぬり機の左右の傾斜が合っていないか、トラクタがまっすぐ前進していないかのどちらかです。確認してやり直してください。

OS/ISシリーズ

⚠ 警告

- あぜぬり機の取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

- トラクタのPTO変速レバーを「中立」の位置にし、取外してください。守らないと、誤操作でPTO軸が回り、傷害事故につながります。

※必ず機体を中央位置(10ページ装着姿勢)に戻します。

- ① あぜぬり機へスタンドを取付け、スタンド止めピンを差し、固定します。
- ② あぜぬり機をゆっくり下げます。
- ③ トラクタのPTO軸からジョイントを外し、次にあぜぬり機の入力軸から外します。
- ④ あぜぬり機のマストから、トップリンクを外します。外れないときは、トップリンクの長さを調節して取外してください。
- ⑤ トラクタの右ローワーリンクからあぜぬり機の右ローワーピンを外します。高さが合わないときはレベリングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調節して取外してください。
- ⑥ トラクタの左ローワーリンクからあぜぬり機の左ローワーピンを取外します。
- ⑦ トラクタをゆっくり、まっすぐ前進させます。

日農工 A1/A2/Bシリーズ

⚠ 警告

- あぜぬり機の取外しは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- 取外すときは、スタンドを取付けてください。
- トラクタのまわりやあぜぬり機との間に、人が入らないようにしてください。
- あぜぬり機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。

守らないと、死亡事故や傷害事故につながります。

⚠ 注意

- トラクタのPTO変速レバーを「中立」の位置にし、取外してください。守らないと、誤操作でPTO軸が回り、傷害事故につながります。

※必ず機体を中央位置(10ページ装着姿勢)に戻します。

- ① あぜぬり機へスタンドを取付け、スタンド止めピンを差し、固定します。
- ② カブラのストッパーやロックを解除します。
- ③ あぜぬり機をゆっくり下げます。
- ④ カブラからローワーピンが抜け、トップピンからトップフックが外れたのを確認して、ゆっくりトラクタを前進させます。外れない場合は、トラクタとあぜぬり機の左右の傾斜が合っていないか、トラクタがまっすぐ前進していないかのどちらかです。確認してやり直してください。

ほ場条件

1 ほ場条件

- ① あぜぬり機の使用前には、ロータリー耕うんをしないでください。ロータリー耕うんがしてあると、土中の水分が保たれにくく、あぜがきれいに成形しません。またトラクタの直進走行がしづらくなります。秋耕しは、あぜ際を1行程残して耕うんしてください。
- ② 元あぜの上にある草は除いてください。新あぜが分離し、崩れやすくなります。
- ③ 元あぜの高さ…UZ300 25cm以内
…UZ・AZ350 30cm以内

2 作業時のほ場水分

あぜぬり機の性能は、ほ場水分の影響を大きく受けます。最適なほ場条件を選び作業してください。

めやす表

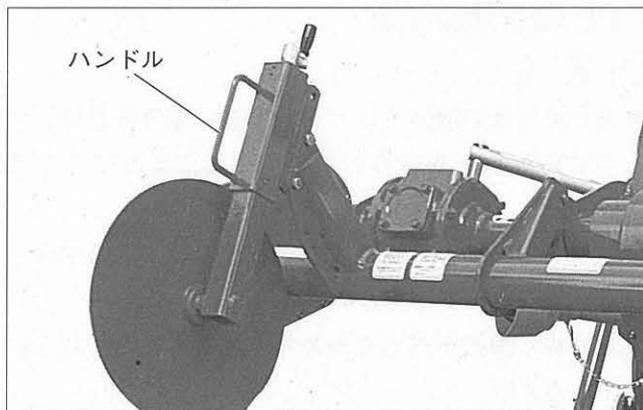
土壌水分 (%)	手のひらで土を握る	砂質		壤土		粘土	
		UZ	AZ	UZ	AZ	UZ	AZ
25~30	固まらない	×	×	×	×	△	×
31~35	少し固まる	△	×	○	×	◎	△
36~40	ほどよく固まる	◎	△	◎	○	◎*	◎*
41~45	柔らかく固まる	◎	◎	◎	◎	◎	◎
46~50	指の間から出る	◎	◎	○	◎	○	◎

- 水分40%以上で、UZシリーズを使用する場合は状況によって、スパーサ(t6)を外してください。
- 水分36~40%で粘土質の場合(*印)、ディスクに土が一番はりつきやすい土質があります。
この場合は、作業を中止して雨が降るか、もう少し乾いてからおこなってください。
- この表は、一般的なあぜぬりの「めやす」です。
次の「上手な作業のしかた」を参考にして、条件を設定してください。
- トラクタの車輪が10cm以上沈むほ場では、作業をしないでください。
- 乾いたほ場では、雨上がりに作業してください。

上手な作業のしかた

⚠ 注意

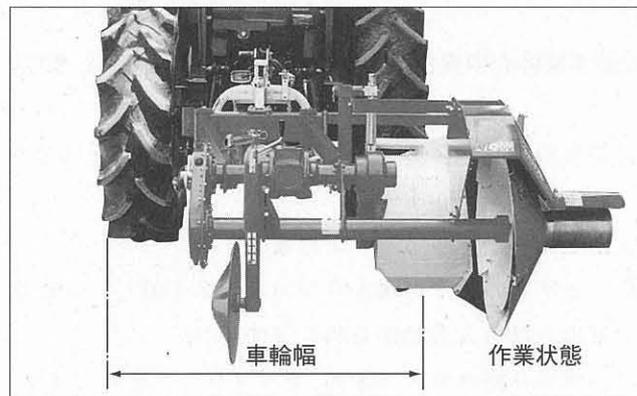
- オフセット(作業時と移動時の位置変え)のときは、②⑥アーム、⑧ミッションケース(UZ)、⑧ミッションフレーム(AZ)など動く部分を持たないで、機体後方のハンドルを持って動かしてください。
守らないと、手をはさむなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



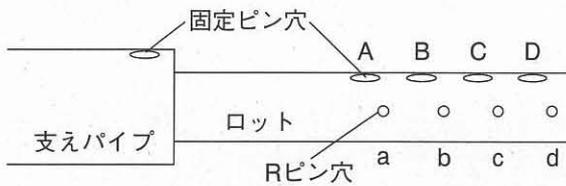
1 作業状態へオフセット

スタンドを外します。

装着・移動の中央位置から、右側にオフセットして作業状態にします。



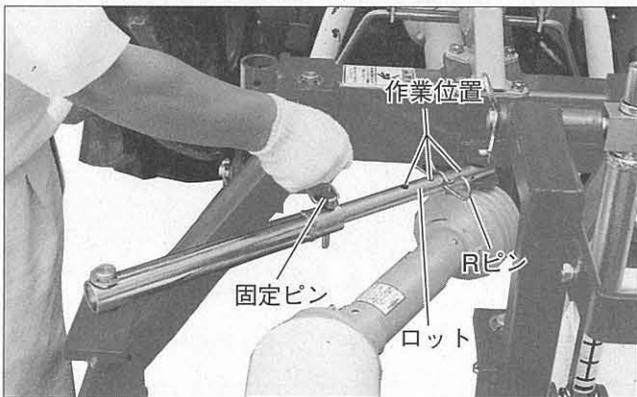
(1)トラクタの車輪幅に合わせて、4段階の調節ができます。次の表を参考にして、ロットの穴位置を設定します。



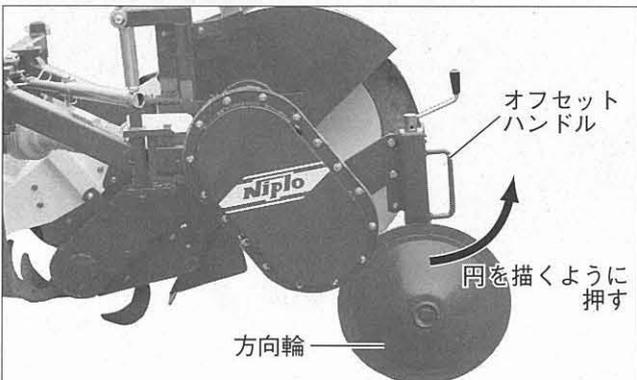
車輪幅 (外幅)	固定ピン穴	Rピン穴
中あぜ作業	A	a
125~140cm	B	b
135~155cm	C	c
150~165cm	D	d

※車輪幅が160cm位になると、オフセット幅がいっぱいになります。少し不足する場合は、トラクタのチェックチェーンでも数センチの調整ができます。

(2)Rピンの位置は、固定ピン穴の位置を合わせるためのストッパーの役目をしています。オフセット位置が決まったら、Rピンを差し込み固定ピンを抜きます。



(3)油圧を下げて機体(重心)を低くしてください。右手で方向輪のオフセットハンドルを握り、後方に円を描くように右側に寄せます。穴位置を確認して、固定ピンを差し込みます。

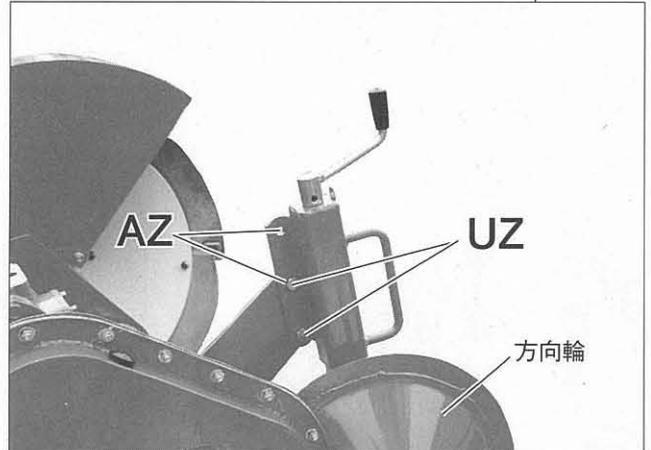


② 方向輪の取付け・調整

車輪幅より右側にオフセットしているため、作業中は機体が左側に振れたり、トラクタのハンドルがとられる場合があります。方向輪は機体の振れを吸収し、直進性をよくするために調節します。

(1)取付けの穴位置が、3カ所あります。

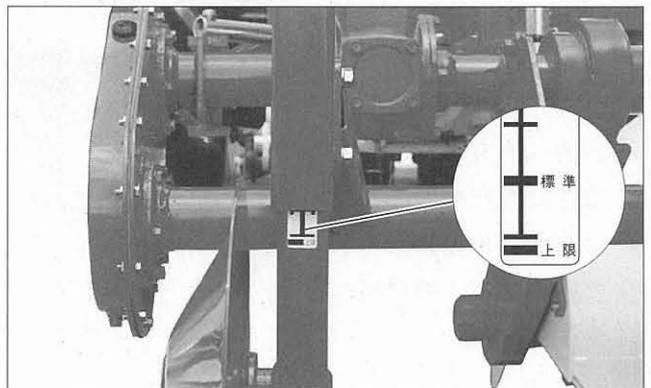
UZシリーズは、中央穴と下穴にセットします。
AZシリーズは、中央穴と上穴にセットします。



(2)深さのめやすは、「標準」のめもり位置に合わせてます。作業をしながら機体の振れや、ハンドルの取られに合わせて調節してください。

- 固いほ場…やや浅めにします。ききすぎて機体が浮く場合があります。
- 湿田……やや深めにします。

※さらに方向輪の直進性をよくするため、方向輪の後方が進行方向に対して4度開いています。

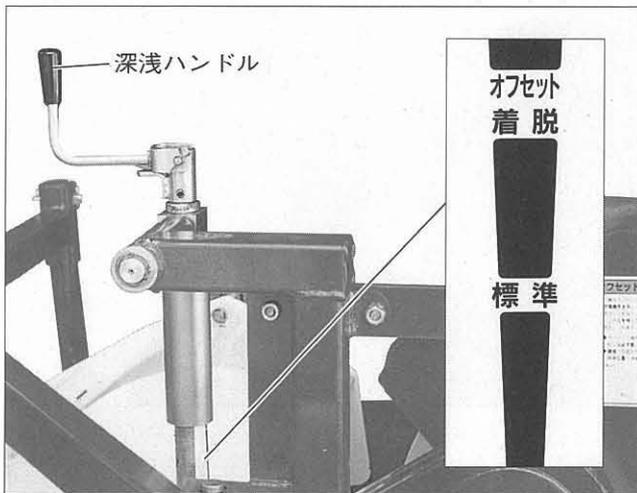


③ ロータリー部の調節

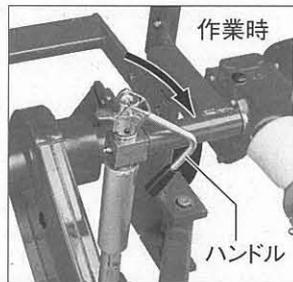
UZシリーズは、アップカット回転(逆転)
AZシリーズは、ダウンカット回転(正転)
爪軸の回転が異なります。調節方法も変わりますので
ご使用の型式にそって、理解してください。

(1) 深浅ハンドルを回して、「標準」に合わせます。

2～3 m作業して土量が多い場合は少し浅めに、少
ない場合は深めに調節します。



● ロータリー部の調節が終
わったら、深浅ハンドル
を倒してください。
作業中の振動で設定位置
が狂わないようにハンド
ルの回り止めになります。



(2) 前カバーの調節

(UZシリーズ)

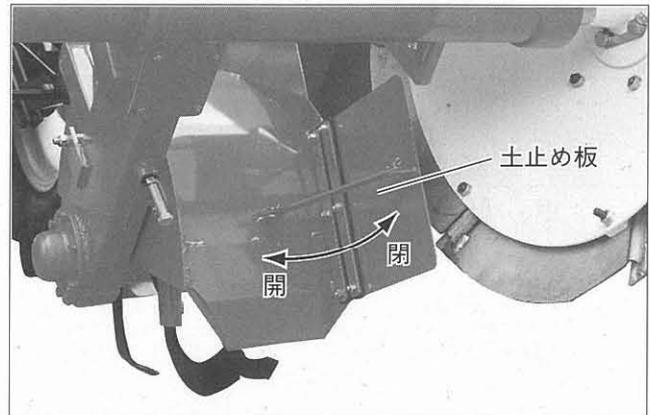
前方への土の飛び出しや
深さに合わせて、3段階
に調節できます。できる
だけ下げて、飛び出しを
少なくします。



● 土止め板

あぜ面への土の量を調節します。

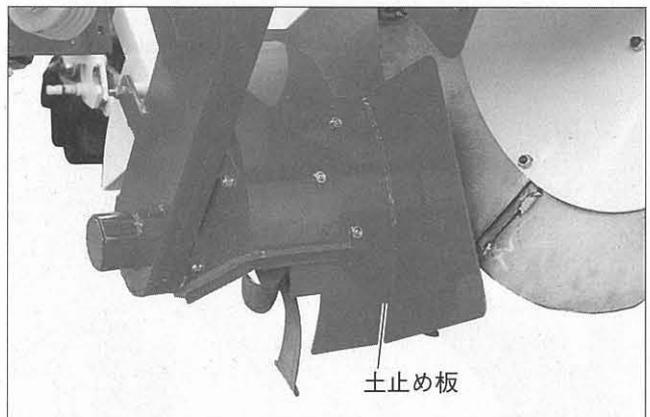
標準は「閉じ」の状態、あぜ面への土の量を多くし
ます。低いあぜを作るときは、土の量が多すぎるの
で「開」にして、土を後ろに逃がします。



(3) ロータリー部のカバー調節(AZシリーズ)

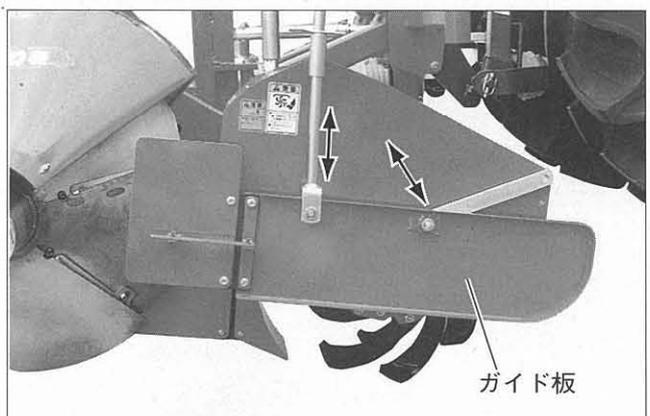
後方への土のはき出しと、あぜ面への土の量を2段
階に調節できます。

- 標準は右側にセット(ディスクに近く)
- 「ぬり厚さ調節」の(2)の場合は、必ず左側に寄せて
ください。ディスクがあたり破損します。



④ ガイド板(UZシリーズ)の調節

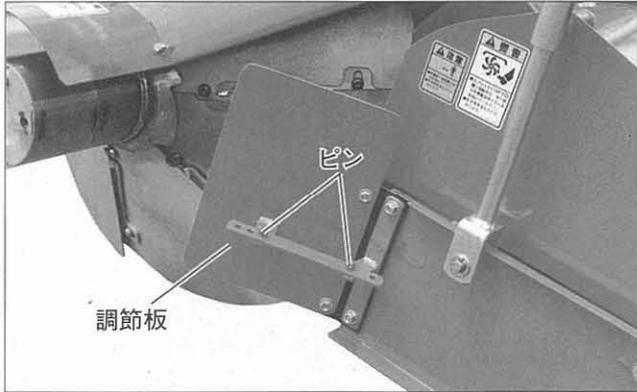
ガイド板はあぜの高さに追従してフリーに上下し、
横への土のはき出しを防ぎます。



⑤ あぜ上面への土量の調節(UZシリーズ)

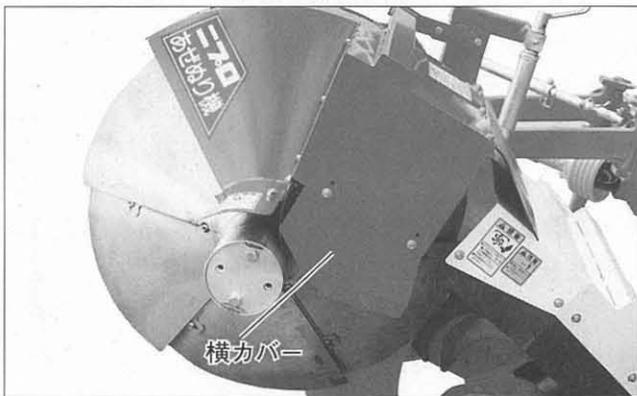
ピンの差し替えで、5段階に調節できます。

- 開く……あぜにのる土の量が多くなり、あぜが高くなります。
- 閉じる…あぜにのる土の量が少なくなり、あぜが低くなります。



⑥ あぜ上面への土量の調節(AZシリーズ)

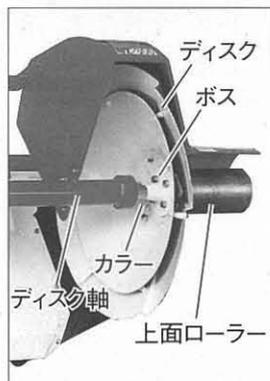
横カバーが上下2段に調節でき、あぜにのる土の量や横へのはき出しを調整します。



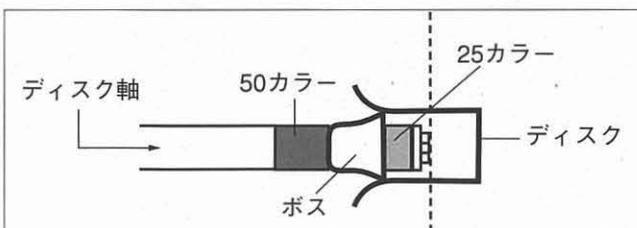
⑦ あぜの「ぬり厚さ」の調節

ディスク軸のカラーを組替えて、「ぬり厚さ」の調節ができます。

AZは「厚ぬり」の方向に
UZは「薄ぬり」の方向に
調節します。

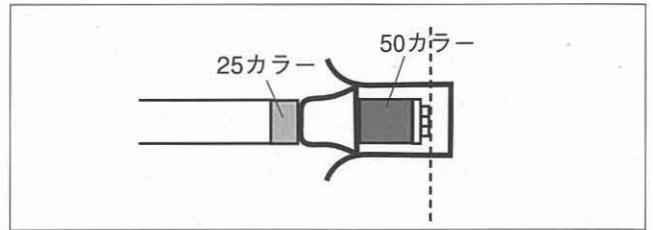


(1)標準の組付け(UZ・AZ)



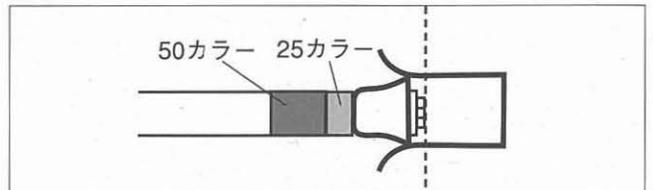
(2)AZで「少し厚め」にぬる場合(+25mm)

25カラー・50カラーを内・外入替えます。必ず土止め板を左側に寄せてください。



(3)UZで「薄く」ぬる場合(-25mm)

25カラー・50カラーを2個内側に組付けます。

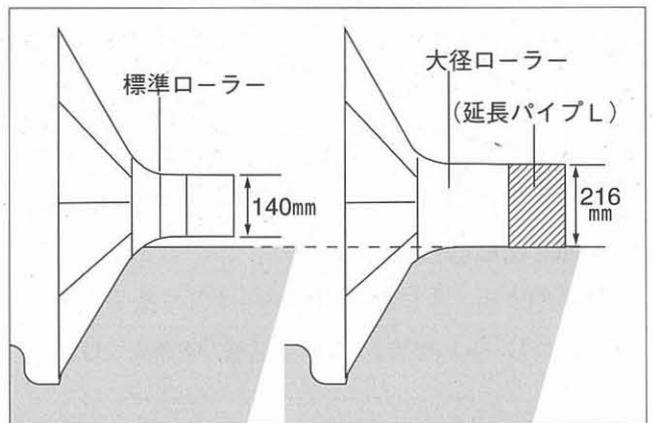


⑧ 低いあぜの対応(大径ローラー…別売り)

次のような条件の場合は、大径ローラー(別売り)に組替えてください。

- 元あぜの高さが低く、標準ローラーではあぜ上面にとどかない。
- ロータリー部やカバーの調節(深さ・土の量)をしても、あぜ上面の押さえが不足(締まらない)する。

UZ00-TR 大径ローラー216(部品番号R008 902000)



9 上面ローラーの調節

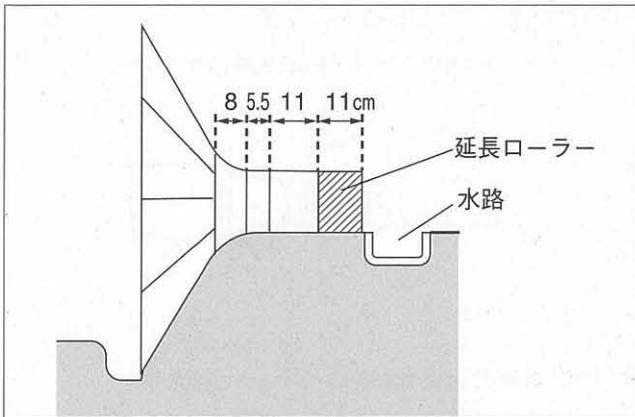
(1) あぜ上面の幅が広い場合は、延長ローラー(別売り)を追加してください。

標準ローラーの延長(AZ・UZ共通)

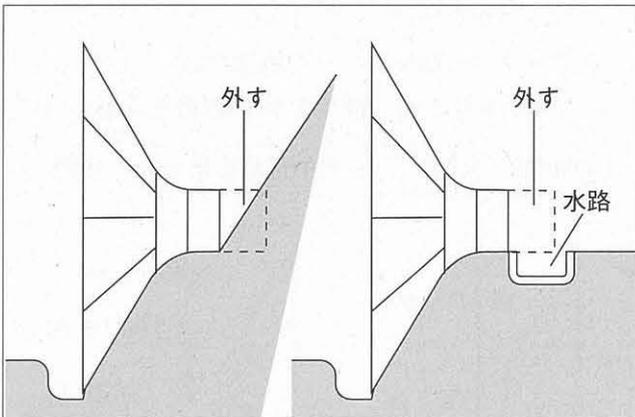
UZ00-ER 延長ローラー140(部品番号R008 909000)

大径ローラーの延長(AZ・UZ共通)

延長パイプL AZ(部品番号7104 220000) 左下図



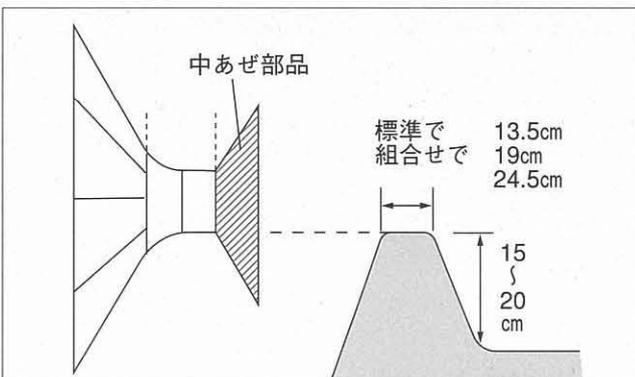
(2) あぜ上面の幅がせまい場合は、延長部分を外してください。



10 中あぜ部品(別売り)

ほ場の中に、1行程で「中あぜ」をつくります。

UZ00-NA 中あぜ部品(組)(部品番号R008 901000)

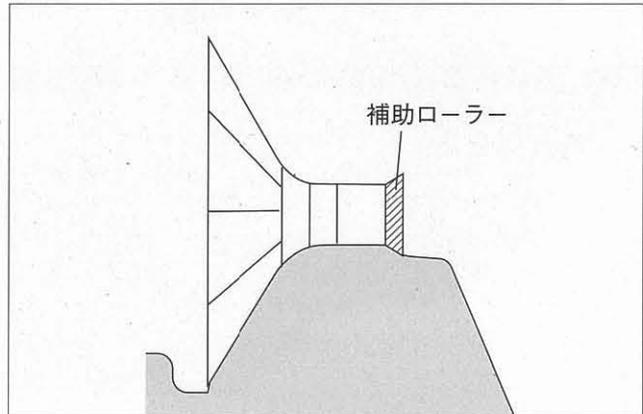


11 補助ローラー(別売り)

あぜ上面の外側の肩を成形します。

こぼれた土を押さえて上面をキレイにしたり、隣の水田に土を落とさないようにします。

UZ00-HR 補助ローラー140(部品番号R008 903000)



12 ウィングの角度調節(UZシリーズ)

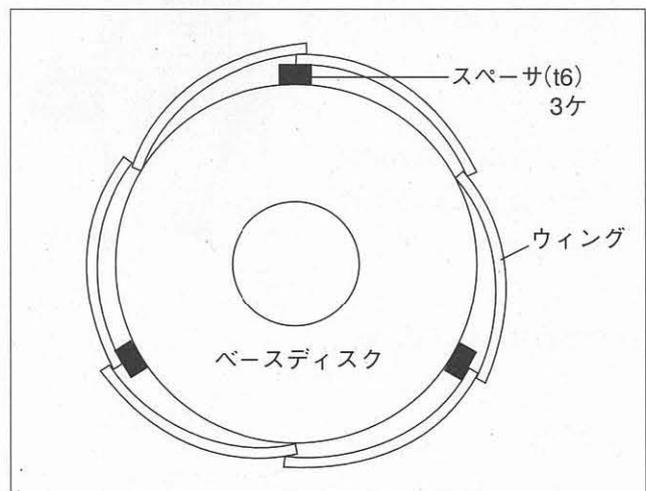
UZシリーズは汎用タイプのため、ほ場の条件に合わせてウィング(6分割)の角度が調節できます。

スペーサで角度をつけ、あぜを「たたく作用」を作りあぜの締まり(固さ)を調整します。

※ AZシリーズは湿田向け仕様のため、角度調節はありません。

(1) 水分が少なめ(乾田)・砂質土の場合

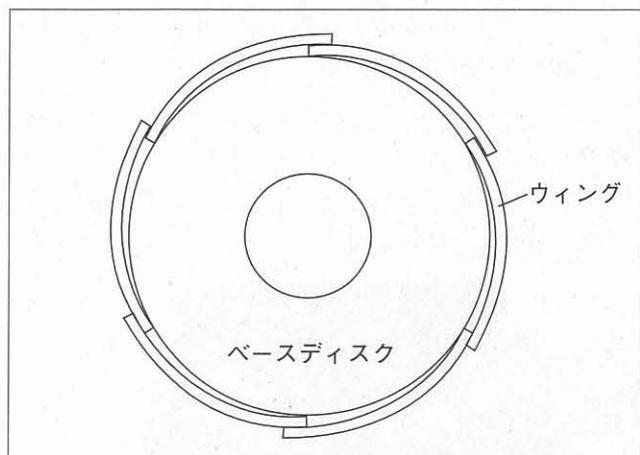
- ウィングの3カ所に角度をつけ、あぜ面に「たたく作用」を持たせ、あぜ面を締め付けるように成形します。



- 標準組付けは、スペーサ(t6) 3ヶです。(16mmと32mmの交互段差になります。)

(2)水分が多め・粘土質の場合

- ウィングに角度をつけずに、なめらかな回転であぜ面の仕上がりを優先します。
(角度をつけると「たたく作用」によって、逆にあぜ面を削り取り、表面が凹凸になる場合があります。)



- スペーサを外して「たたく作用」が出ないようにします。

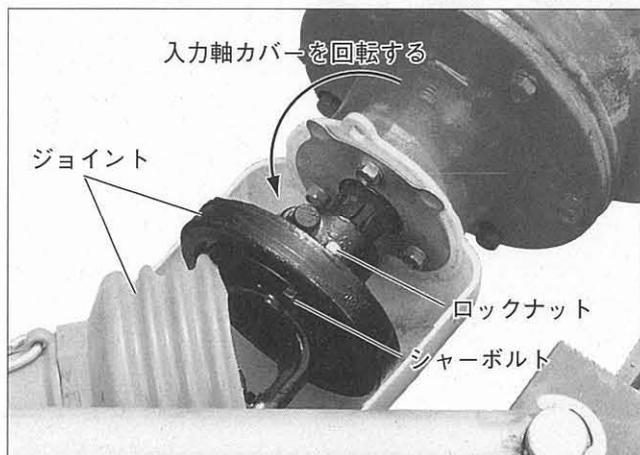
補足

- ウィングの「たたく作用」はあぜを締め付ける効果があり、あぜの表面に少し凹凸が残りますが、崩れにくいあぜを成形します。
ほ場の水分・土質に合わせて調節をしてください。

13 シャーボルトの交換

石や杭などの「かみ込み」による機体の損傷を防ぐため、ジョイント部分にシャーボルトを使用しています。

切れた場合は必ず、付属の純正シャーボルトに交換してください。



シャーボルト M6×40(クミ) 部品番号 R008 918000

作業時の注意

⚠ 警告

- 作業中は、トラクタとあぜぬり機のまわりに人を近づけないでください。
 - 回転部分に草やワラが巻き付いたときは、PTO回転を止め、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。
 - 傾斜地での急旋回は転倒のおそれがあり大変危険です。トラクタ速度を落とし、大きく回ってください。
 - あぜぬり機の調整をする場合は、必ずエンジンを止めてからおこなってください。
- 守らないと、死亡事故や傷害事故の原因になります。
- 作業が終わりましたら、土やゴミを、ほ場内できれいに落とし、道路には落とさないでください。

1 作業速度

標準作業速度は、0.4～1.2km/hです。一般的に水分が多い場合は速め、水分が少ない場合は遅めにします。

- 水分多め…速度は速めで、キレイな成形を優先します。
(速度が遅いと、のり面が凹凸になりやすい)
- 水分少ない…速度は遅めで、あぜの締め付けを優先します。

※めやす表

車速(km/h)	1.2	1.0	0.8	0.6	0.4
含水率(%)	50	45	40	35	30

2 PTO回転数

トラクタのPTO回転数は450～600rpmを使用します。(PTO変速 1速～2速)

トラクタのエンジン回転は1600～2000rpmの範囲で使用してください。

3 作業中の異常・点検

- (1) 振動、異音など作業中の異常は、ただちにエンジンを止め点検してください。そのまま使用し続けると他の部分にも損傷が広がります。
 - (2) 30、31ページの点検整備・異状処置を参照して、必ず対応をしてください。
- あぜぬり作業は、ほ場の条件(水分・土質)に大きく左右され、同じほ場でも仕上がりが変化する場合があります。「上手な作業のしかた」を参考に調整をしてください。

点検整備・保守管理

長くお使いいただくためには、日常の保守管理が大切です。

警告

- 点検・整備をするときは、交通の邪魔にならず安全なところを選んでください。機械が動いたり、倒れたりしない平らな固い場所で、トラクタの前輪には車止めをしてください。
- 点検・整備をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してからおこなってください。
- あぜぬり機の落下を防止するため、油圧ストップバルブを完全に「閉め」てロックし、あぜぬり機の下へ台を入れてください。
- 爪や回転部分に草やワラが巻き付いたときは、必ずエンジンを停止させ、巻き付きを外してください。
- ディスクは鋭利になっています。素手でさわらないでください。

守らないと、死亡事故や傷害事故の原因になります。

① ボルト・ナットのゆるみ点検

使用時ごとに各部のボルト・ナット、特に爪取付けボルトを増締めしてください。新品の場合は、使用2時間後に必ず増締めをしてください。

② ジョイントの給油

① グリースニップル

使用時ごとにグリースを注入する。

② ジョイントスプライン部

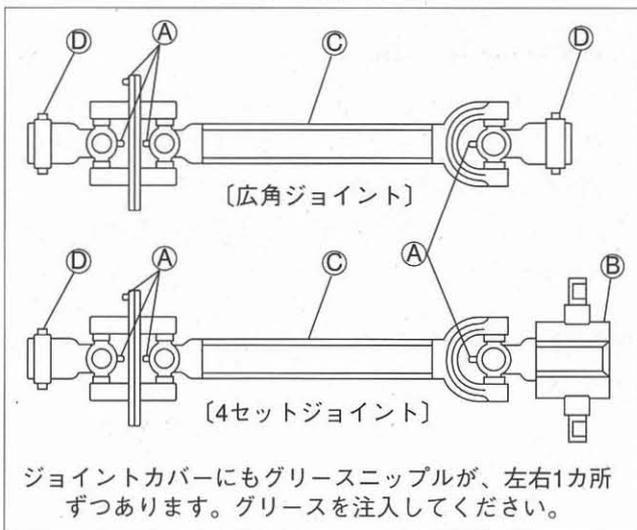
使用時ごとにグリースを塗る。

③ シャフト

シーズン後にグリースを塗る。

④ ロックピン

シーズン後に注油する。



③ オイル量の点検と交換

(1) オイル量の点検

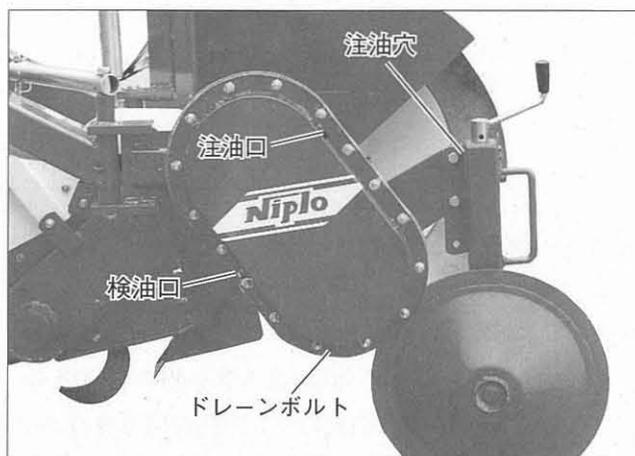
作業状態にしてオイルの量を点検してください。不足の場合はギヤオイル#90を補給してください。

(2) オイル交換

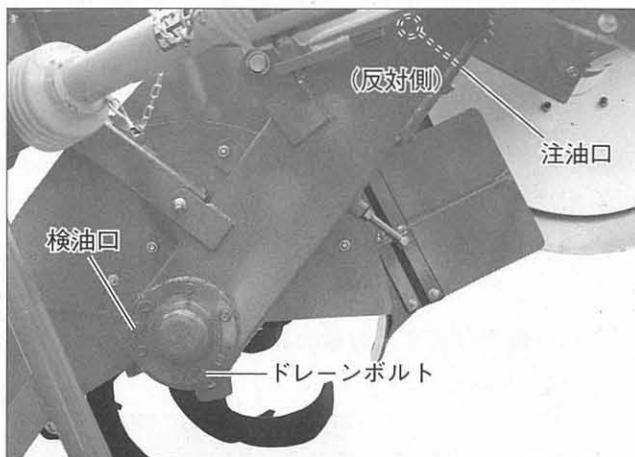
工場出荷時には給油してありますので、第1回目の交換まではそのまま使用してください。

●チェーンケース

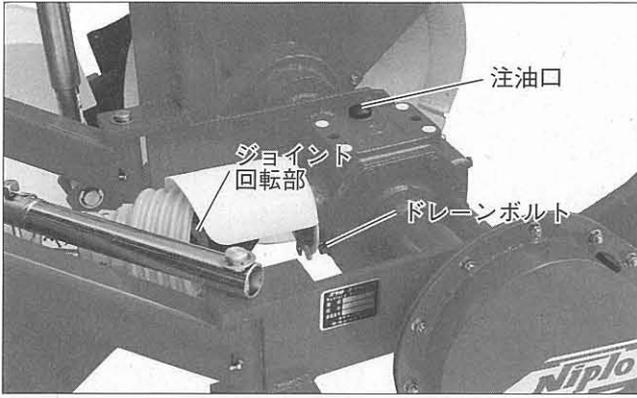
ドレーンボルトを外して、オイルを排出します。注油口から規定量を給油してください。



●チェーンケース2



● ミッションケース (UZ)



● ミッションフレーム (AZ)



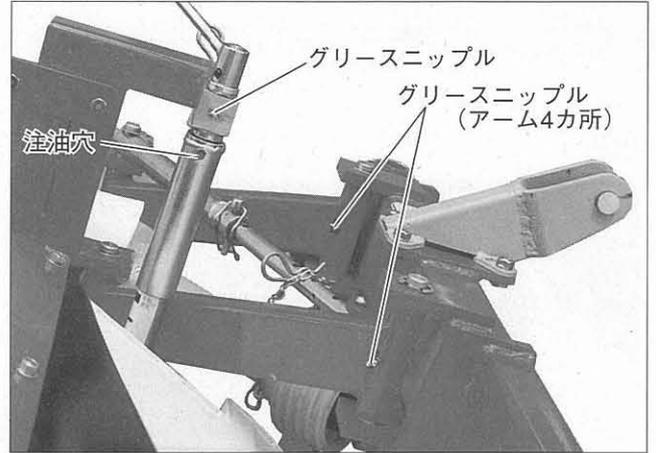
交換箇所	量(ℓ)	1回目	2回目以後
チェーンケース	1.0	30時間	250時間
チェーンケース2	2.0	30時間	250時間
ミッションケースUZ	1.2	30時間	250時間
ミッションフレームAZ	1.0	30時間	250時間

④ 注油・グリース補充

注油………方向輪・ロータリー部ハンドルの注油穴

- グリース { …オフセットアームの4カ所
…深浅ハンドルの回転部
…ジョイント回転部

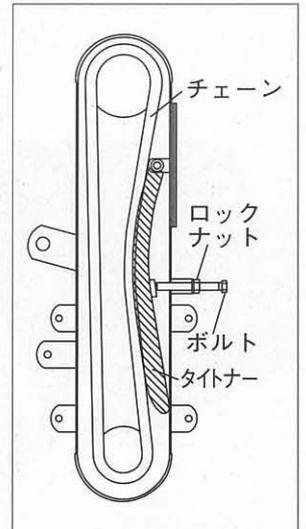
作業前、または8時間ごとに点検・補充してください。



⑤ チェーンタイトナーの調節

作業ごとにチェーンが伸びます。作業前には必ず調整をしてください。

- ロックナットをゆるめま
す。工具を使わないで、
必ず手で、ゆるんだ分を
締め込んでください。
※工具で締めるとチェー
ンが伸び過ぎます。
- ロックナットを締めます。

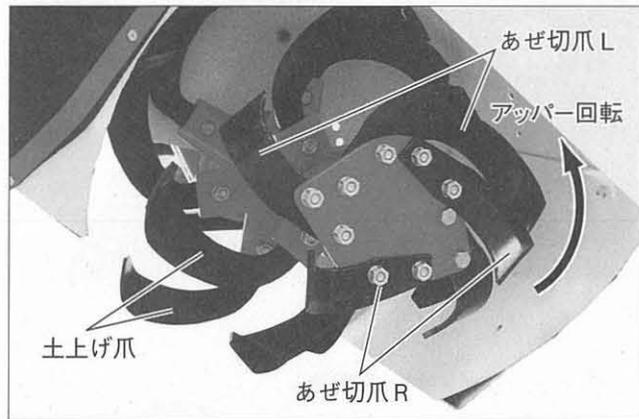


⑥ 耕うん爪の種類と本数

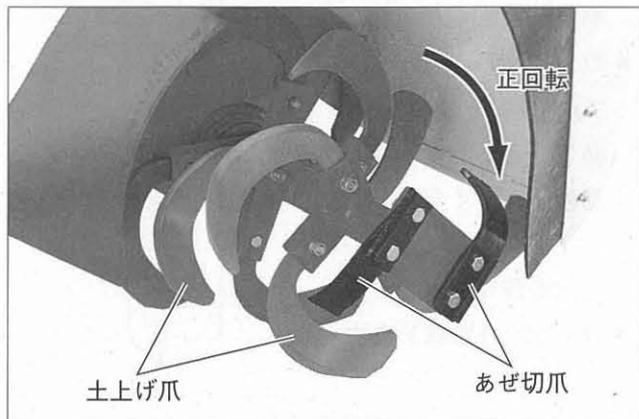
あぜぬりの性能に大きく影響します。破損したり、摩耗した爪は、早めに交換してください。

	あぜ切り爪		土あげ爪	
UZ	A21R 2本	A21L 3本	H21L 7本	T209L 1本
AZ	A21L 2本		H21R 7本	T209R 1本

UZ



AZ



⑦ ウィングの入替え・交換

6分割のウィングは交換できます。

UZの場合は、下図のように食い込み部分の角度によって摩耗に差がでます。ウィングの取付位置を入替えるか、スペーサ(t6)の差し替えでさらに長く使えます。

(1) ボタンボルトを外します。

一度に全部外さないで、必要部分から外します。

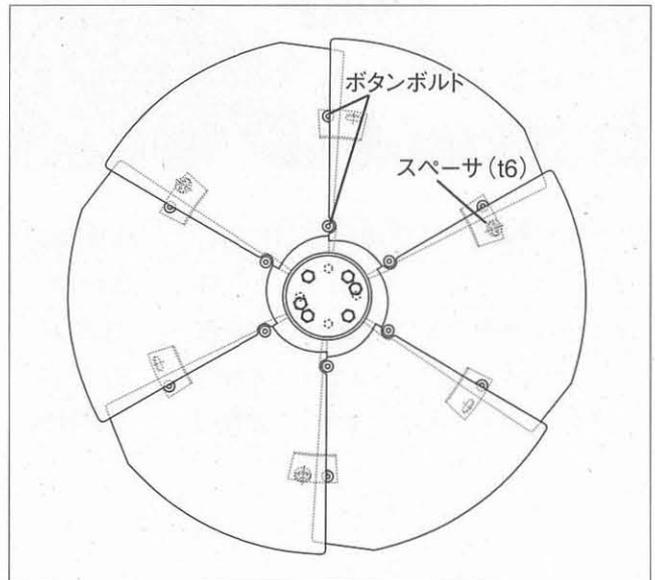
(2) ウィングを順番に組替えます。

一度に全部外すと、組付けがしづらくなります。

(3) ウィングが全体に減ると、あぜぬり性能に大きく影響しますので交換してください。

⚠ 注意

- 摩耗部分は鋭利になっています。必ず手袋をして作業してください。守らないと、傷害事故につながります。



地球にやさしく

使用済みのオイルをむやみに捨てると環境汚染になります。

- (1) オイルを排出するときは、必ず容器に受けてください。地面へのたれ流しや川への廃棄は絶対にしないでください。
- (2) 廃油・各種ゴム部品・ウイングディスクなどを捨てるときは、お買い求めの農協、販売店にご相談ください。

格納

⚠ 警告

- 格納は、雨や風があたりず、平らで固い場所を
てください。
- あぜぬり機の格納はスタンドを必ず付け、キャ
ーのストッパーをかけてください。
- カプラ・ジョイントはあぜぬり機から外して、
に置いてください。
- 格納庫には子供を近づけないでください。
守らないと、あぜぬり機が転倒し、傷害事故や損
傷につながります。